

登録コード	E8582100	開講年度	2026				
授業科目	音楽教育ゼミナール				担当教員	桐原 礼	
英文授業名	Academic Studies in Music				副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・3時限	対象学生	
講義室	共通教育 7 1 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				これからの大学生活において音楽教育に関して専門的に取り組むことになるが、その第一歩として音楽教育の基礎的・基本的な知識や技能、態度等を身に付けることができる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				音楽教育は幅広い専門領域に亘ることから、本ゼミナールでは各専門分野の全教員から初歩的内容を学ぶと共にレポートの書き方やプレゼンテーション、演奏、制作、鑑賞といった多様な活動を通して習得することができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	これからの大学生活において音楽教育に関して専門的に取り組むことになるが、その第一歩として音楽教育の基礎的・基本的な知識や技能、態度等を身に付けることを目的とする。音楽教育は幅広い専門領域に亘ることから、本ゼミナールでは各専門分野の全教員から初歩的内容を学ぶと共にレポートの書き方やプレゼンテーション、演奏、制作、鑑賞といった多様な活動を通して習得する。						
(5)授業計画	第 1 回：情報セキュリティガイダンス 第 2 回：こころの健康ガイダンス 第 3 回：図書館ガイダンス 第 4 回：楽典試験の概要（桐原） 第 5 回：自己紹介スライドの作成（桐原） 第 6 回：音楽的な体験の振り返り（桐原） 第 7 回：長野県の愛唱歌について（桐原） 第 8 回：愛唱歌に関する資料の作成（桐原） 第 9 回：愛唱歌の演奏について（桐原） 第10回：愛唱歌に関するプレゼン（桐原） 第11回：音楽理論の基礎（楽典を中心に）（井田） 第12回：音楽科授業の基盤となるもの（齊藤） 第13回：ヴェリズモオペラの鑑賞（田島） 第14回：器楽表現（ピアノ連弾）の多様性（中島） 第15回：楽典に関する小テスト、これからの音楽教育、授業アンケート（桐原） 教育実習で欠席した学生がいる場合は、個別に課題を提示し、提出を求める。 上記の予定であるが、順番が入れ替わることがある。						
(6)成績評価の方法	各教員の課題（70％）と小テスト（30％）に加え授業への参加姿勢（課題の評価とリンクする）を総合して評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	各担当教員（6名）が課す試験やレポート等の成績により評価する。レポートの場合は（ ）問題の設定が適切であり、（ ）論述方法が適切であり、（ ）根拠をもって論述しており、（ ）その上で自分の見解を提示できておりかつ感心させるレベルにあれば「卓越している」、（ ）から（ ）の4項目が一定水準以上であれば「かなり上にある」、3項目が一定水準以上であれば「やや上にある」、3項目までが標準的であれば「水準にある」と判断する。						
(8)事前事後学習の内容	実技を伴う授業内容においては、実技課題が指定されることがあり、個人練習やアンサンブル練習が事前に必要となる場合がある。また、音楽理論に関わる授業内容においては、楽典を中心とした小テストを実施する予定なので、テキストを用いての事前事後の学習が必要となる。楽典テストが基準点に満たない場合追試もしくは追レポートを課す場合がある。その他の講義においてはレポート提出が課せられる場合がある。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	日ごろから様々な音楽に接し、音楽的感性を養って欲しい。また、事前学習の程度によって授業内容の質が大きく左右されるため、準備を十分に行い、授業に臨んで欲しい。授業と並行し、音楽表現・鑑賞体験を自ら積極的に行うのが望ましい。各担当教員の授業受け持ち回数が少ないので、可能な限り欠席をしないこと。また、各担当教員がレポートを課したり授業時間内に試験を行ったりすることがある。レポート提出ができなかったり、授業を欠席したため試験を受けられなかったりした場合、その理由を文書にて提出すること。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問や相談の内容に応じて、各教員までメールで問い合わせること。 中島：pf-naka@shinshu-u.ac.jp 齊藤：saitota@shinshu-u.ac.jp						

(10)質問，相談への対応及び連絡先	田島：ttajima@shinshu-u.ac.jp 井田：ida_katsuhiro@shinshu-u.ac.jp 桐原：kiriaya@shinshu-u.ac.jp（1年担任）
【教科書】	新装版『楽典』理論と実習 石桁真礼生・他著 音楽之友社 2,160円 【ISBNコード】 9784276100008
【参考文献】	適宜紹介する。